

若いけど！

Vol. 12 / 2016年07月24日発行

おばちゃん通信



新年度になり、所属委員会が**教育福祉常任委員会**となりました。教育委員会事務局、こども育成部、福祉部、健康部を所管する委員会です。また、引き続き**横須賀市観光立市推進特別委員会**、**議会IT化運営協議会**、新たに**議会報告会等準備会**に所属しています。

<平成28年第2回定例会 教育福祉常任委員会での報告>

☆(仮称)中央こども園整備事業について

平成31年4月、合同庁舎跡地に開所を予定していた(仮称)中央こども園。土地取得の為に国が提示した額に対し、本市の財産評価委員会が審議をしたところ、不承となり、市も不動産鑑定をしました。それに基づき国と交渉を進めたけれど、国と価格は折り合わず、取得ではなく「定期借地」として土地を50年間借りることで話を進めていく、との報告がこども育成部からありました。平成28~29年度には基本設計に入るようですが、借地としての不動産鑑定はその後に行われる予定であり、価格が未定のまま平成33年度開所を目指し計画が進められることに不安を感じる声が続出。しかし今回委員会では報告に対する質疑のみ。(仮称)中央こども園に関しては今後議案としてあがってくるようです。

☆S I B (ソーシャル・インパクト・ボンド) による特別養子縁組について



民間事業者のノウハウや、投資家・篤志家からの資金を活用し、社会問題を解決していこうとするS I B。横須賀市は日本財団のパイロット事業としてS I Bを活用し、特別養子縁組制度の推進を昨年度行いました。成果としてこれまで実績のなかった特別養子縁組が一件成立、あと二件も成立の見込みとなっています。しかしそもそもS I Bを活用すべき事業なのか、などの意見も出ました。6歳未満の子ども福祉の為に、実親との法律上の親族関係を消滅させ、養親子関係を家庭裁判所が成立させる特別養子縁組。

今後本市はS I Bを活用せずに、特別養子縁組制度を推進していくそうです。その際には今回連携していた民間事業者にも協力を仰ぎます。子どもの家庭環境での養護が進むことを願います。

☆公共施設の統廃合について～施設分野別実施計画～

産業交流プラザとヴェルクよこすかの貸室部分を、総合福祉会館に集約。デュオよこすかと市民活動サポートセンターを産業交流プラザ貸室部分に移転。現在の老人福祉センター、老人憩いの家はすべて廃止。逸見行政センターと逸見コミュニティセンターをウェルシティ市民プラザへ移転。といった計画素案が出されました。委員会では移転後の空きスペースの活用が決まっていないことに対する疑問、施設の利用率の算出方法などの質疑がありました。今後地域や施設利用者への説明会、意見交換会を随時開催するそうです。

☆一般質問報告☆

①公共施設の統廃合に関する施設分野別実施計画について ②市民参加について ③男女共同参画について 質問の一部を報告します。

問：公共施設の統廃合の計画に対し、どのような形で市民の意見を取り込むのか。市民同士で討議する場も必要ではないか。

答(市長)：計画の素案策定後、地域やその施設の利用者への説明、意見交換会を開催していく。市民と市の考えが異なる場合でも、意見をよく聞いて、その中にあるニーズを捉えたい。市民同士の討議は地域運営協議会でやっていただきたい。アンケートで市民の意見を聞くが、地域運営協議会(現在市内12地区に設置されている地域自治組織)のご意見を重視していることは断言をしたいと思う。

問：公共施設が減るならば、今後学校施設の開放をもっとすすめてはどうか。

答(教育長)：セキュリティーや運営に関わる開放管理員の確保等を含め、児童・生徒の安全や学校教育に支障のない範囲で、地域の需要を勘案しつつ検討していきたいと考えている。



問：若い世代のまちづくりへの参画を促すためにも、「子ども会議」を設置し、子どもの頃からまちづくりに参加する場を設けてはどうか。子どもの意見を吸い上げる場が欲しい。

答(市長)：現在ボランティア組織の横須賀市ジュニアリーダーズがある。この既存の組織を支援したい。また、中高生対象の車座会議も考えられるが、まだ「やります」というまで議論が熟していない。

問：男女共同参画社会実現への拠点施設であるデュオよこすかのあり方を見直すべきでは？

答(市長)：移転が検討されているが、今後利用者の意見等も聞き、あり方を検討したい。デュオよこすかは男女共同参画社会実現に関わる団体の拠点として、一定の役割を果たしたと思っている。相談機能は大事。また情報収集やそれを市民活動や起業につなげることも大切。そうした情報交換の機会などは今後別の形で用意した方が機能的ではないかと考えている。

☆市立中学校完全給食が決定しました！

7月8日に開かれた総合教育会議の場において、横須賀市立中学校で、全員喫食による完全給食実施が決定されました。導入時期、実施方法などは今後決められます。

おばたさおりプロフィール

1985年10月3日生まれ。30歳。平作小、池上中、横浜市立金沢高校卒業。語学学校、ディアプロバレーカレッジを経て、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UC L A)に編入し、卒業。学習塾、フリースペース勤務を経験。児童養護施設や市内小学校でのボランティアも経験。2015年横須賀市議会議員選挙にて5625票を得て、当選。現在1期目。

<ご意見、ご相談、ご質問など、皆様からのお声をお待ちしています！>

移動事務所：080-1161-4031またはinfo@obatasori.com

ブログも更新中です！「おばたさおり」で検索してみてください。